

頑張れ!!



ゆらっ子

ピカピカ
 新入生

条例

由良町国民健康保険税値上げへ

問 国保会計が、平成22年度で赤字になってくる。その原因は？

答 (保健福祉班長) 一番の原因は、医療費が大きくなってきました。高齢化率も上がり74歳までの人口の占める割合が大きくなり、当然高齢化になれば医療費が高くなってきているのが主な要因です。

問 一般被保険者一人当たりの医療費は？

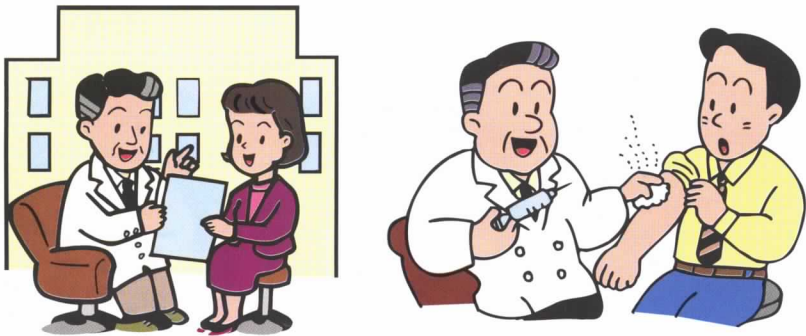
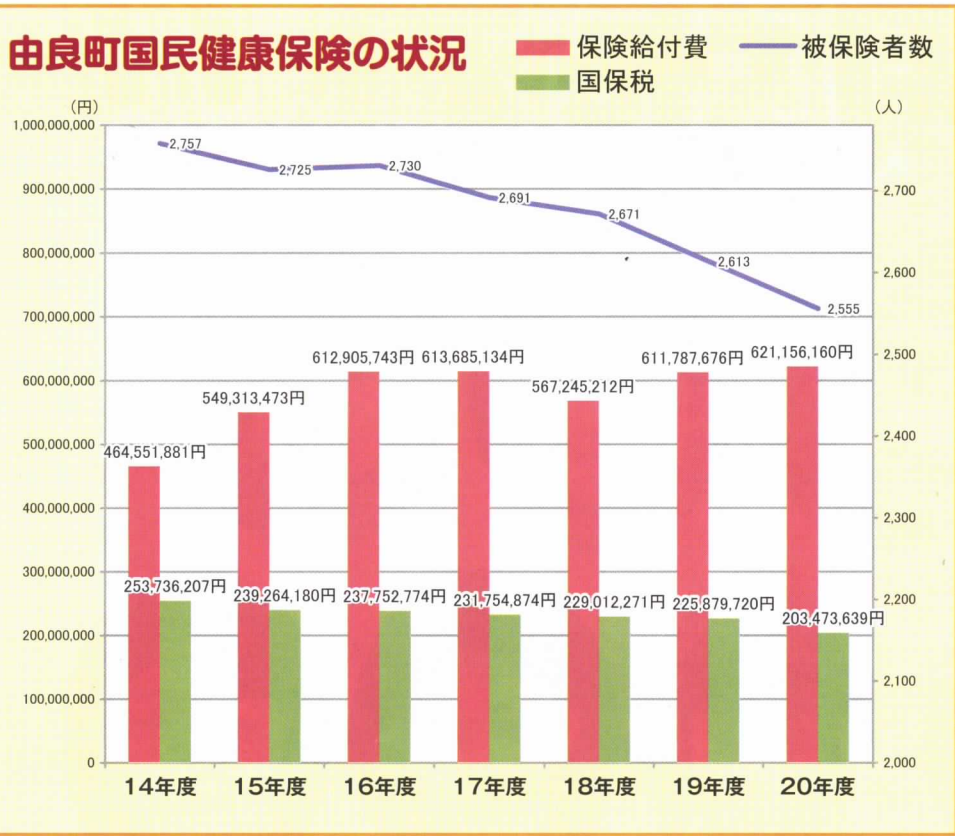
答 (保健福祉班長) 平成20年度から、60歳から74歳までの退職者医療の費用が、30万6千円と大幅に上がっています。

問 応能50%応益50%の割合は、今回はどのようになっているのか？

答 (税務課長) 応能部分は、「所得」に率を掛けて出す額プラス「資産」に率を掛けて出す額です。

問 応能50%応益50%の割合は、今回はどのようになっているのか？

答 (税務課長) 応能部分は、「所得」に率を掛けて出す額プラス「資産」に率を掛けて出す額です。



平成22年度 特別会計

由良町国民健康保険特別会計予算

歳入。歳出9億7,060万円

計算通り徴収できるのか？

下がる可能性がある

問 町民税が減収している中で試算であり、またはこの計算通り国保税を徴収できるのか、疑問がある？

答 (税務課長) 22年度の徴収率の見込みは、95%です。税率改正による負担増に伴って、国保税の徴収率が下がる可能性があります。

問 人間ドッグを実施するべきではないか？

答 (保健福祉班長) できるだけ、住民健診に参加していただきたいと思っています。

由良町介護保険特別会計予算

歳入。歳出5億8,000万円

認定者数と状況分析は？

予算額は増大

問 平成12年度からはじまった保険制度ですが、当初と最近の状況分析また認定者数はどのようになっているのか？

答 (保健福祉班長) 平成12年が185名、保険給付費が2億8,400万円。平成13年度は221名と認定者数は徐々に上がってきています。22年1月末では382名、給付費が、5億2,300万円となっています。

また、平成12年と比較して平成22年1月末では人口が約1,000人の減少ですが、高齢化率は23.5%から29.5%と高くなっています。このような状況なので、介護保険会計の予算額については増大しています。

後期高齢者医療特別会計予算

歳入。歳出1億7,150万円

後期高齢者医療制度は今後どうなるのか？

確かな情報はない

問 国が、後期高齢者医療制度の対象を65歳以上に拡げようとしていると聞くが、

国からの情報はないのか？

答 (町長) 国においても議論の途中なので、正確な情報等はない。

由良町公共下水道事業特別会計予算

歳入。歳出4億3,330万円

過疎債は利用できるのか？

下水道債より有利

問 今年度から由良町も過疎債がつかえるようになります。この起債は、下水道事業にもつかえるのか？

答 (参考) 過疎債については、市町村が作成した自立促進計画に基づいて実施されます。下水道債より有利となっています。

問 今後の下水道の展望をどのように考えているのか？

答 (上下水道課長) できるだけ早く普及して、水質環境の向上を図りたい。

水道事業予算

収入。支出4億 17万円

耐震化は進んでいるか？

平成31年度までに更新工事完了予定

問 地震防災アクションプログラムの推進で、浄水場、配水池等の耐震化の具体的な問題と課題は？

答 (上下水道課工務班長) 各地区の配水池も老朽化が進み、対応が必要になってきますので、平成31年度までに更新工事の完了を目指します。三尾川浄水場については、平成23年に統合計画の申請を出しています。

平成22年度

一般会計

(当初予算)

歳入・歳出

32億7,000万円

歳出

問 総務管理費の「小引・三尾川バス運行助成金」に関連してお聞きします。

高齢化が進んでいる中、車に乗れない方・免許の無い方もいることを考えると「町内循環バス」を考えていくべきではないか？

また、運行助成しているバスでも由良駅止まりで、役場・商店・病院等へのアクセスが悪過ぎます。是正は出来ないのか？

答 (町長) 小引バス運行は、赤字路線なので維持するために町が400万円を助成・負担しています。三尾川バス運行は、湯浅町「済生会病院」への路線を維持するために広川町との応分負担額168万円を助成しています。

問 黒田・柳原・吹井区内に集合住宅数が何棟あり、関連する固定資産税はいくらか？

また、5年前の国勢調査から平成22年になり、人口がどれくらい減少したか？減少した人口が地方交付税で算入された場合、どれくらい減収になるのか？

答 (総務課長) 大きな集合住宅の建物は15棟あり、土地に関する税額は157万7,400円、建物については711万6,400円、併せて869万3,800円です。

答 (総務財政班長) 交付税については、単純に計算すると1名あたり15万円。170名減少したことで2,500万円の減収という計算になります。

問 人口7,000人を切り、今年度から過疎地域に指定され「過疎債」を利用出来るようになるが取り組みなどについて伺いたい。

答 (参考) 3月10日に過疎関係の法律が改正、由良町も過疎地域に認定されました。充当率100%、後年度地方交付税で70%・元利償還金の7割が戻ってくるという大変有利な起債です。

起債の用途については、学校・保育所などの施設関係、ソフト関係の事業も新たに加わるようです。



近い将来、畑小学校の統合など教育委員会が地域の皆様へ投げかけていますので、小学生の通学バスを含めて朝昼晩3便程度になると思いますが、高齢者の方々の移動手段の確保をしていく方向で、コミュニティバスのようなものを考えていけたらと思っています。

平成21年度

一般会計補正予算

歳入・歳出 8,400万円

総額 36億 960万円

問 今回の補正は地域活性化・きめ細やかな臨時交付金を活用したものが主なものですが、内容の説明を。

答 (参考) 国が緊急対策として追加した国庫補助を活用して、必要な事業を前倒しで実施します。

臨時交付金を活用した全体事業費 6,915万8千円

町道整備事業

事業費3,450万円

この事業は、町道6路線の新設及び改良です。

消防・防災関連事業

事業費2,265万8千円

この事業は、落石防護施設整備、避難道路整備、河川防災対策、消防車庫等の整備、LED避難誘導灯の設置などです。

社会教育施設整備事業

事業費800万円

この事業は、吹井の町民運動場のフェンス改修工事です。

上水道施設整備事業

事業費400万円

この事業は、送水管改良工事に要する経費の出資です。

問 それ以外の主な事業の概要は？

答 (参考) 最近、国の補助が交付決定したものは、「**公共施設の耐震診断**」全体事業費1,507万1千円
この事業は、旧白崎中学校体育館・

ているところだけでも倒れなくする小規模な改良も普及させていきます。
問 「ふるさと納税2件130万円」をしていただいた方への対応と今後の啓発は？
答 (参考) 町外2名の方には、御礼状と由良町の特産品を差し上げる対応をしています。
ホームページ等検討して、もう少し啓発していきます。

由良町介護保険特別会計補正予算
歳入・歳出 840万円追加
総額5億8,606万7千円

問 介護保健の認定者数の増減は？

答 (保健福祉班長) 平成22年1月末現在で382名です。2年前より20名程度増えています。
デイサービス、訪問介護サービスの利用が多くなっています。

由良町水道事業会計補正予算
出資金400万円補正

問 只越配水池の改良工事内容は？
その他の配水池は？

答 (上下水道課工務班長) 只越配水池は、外部の耐震化は済んでいます。緊急遮断弁・送支弁等設備の対応年数が過ぎているので、外側にもう一つ連通管をつなぐ改良工事を行います。
また由良町内には「畑・大引・衣奈・戸津井・三尾川」の5箇所に配水池があります。これらも年数経過しているため、順次更新工事を考えています。

由良町国民健康保険特別会計補正予算
歳入・歳出301万5千円追加
総額 9億7,597万1千円

由良町後期高齢者医療特別会計補正予算
歳入・歳出144万8千円追加
総額 1億5,121万3千円

一 般 質 問

どうなる今年度予算!! 自由に使える財源が増加



藤田 富三 議員

問 平成22年度の予算で、地方交付税が1億4,000万円増加しているのに、町債も9,100万円増加している。疑問に思うのでお伺いします。

答 (町長) 地方公共団体が、地域のニーズに適切な対応するために、国の地域主権改革の第一歩として地方が自由に使える財源が増加しました。
我が由良町においても、6・8%増を見込んだものです。

問 平成21年度当初予算比3,041万7千円の増額になった国保税についての経過及び、理由についてお伺いします。

答 (町長) 平成15年度末で、約1億5千万円あった国保の基金が、平成21年度末で無くなる見込みです。
特に平成20年度では3,100万円、本年度は4千数百万円の取崩しが必要となります。

国保の収支を合わせたため、平成22年度において国保会計の収支が3千万円あまりが赤字となり、やむを得ず増税をお願いするものです。



問 国保税約3千万円の増税分を一般会計から、繰入れることは出来ないか?

答 (町長) 一般会計から繰入れした場合の問題点として、社会保険などの医療制度に加入している方々が町へ納めている税金を、また国保のために支払うということになり、理論上からいいますと、二重に保険料を払うということになります。

従って当町では、今まで制度外繰入れ等をした事はありませんが、税率見直しに当たって制度外繰入れというのにも念頭に無いことは無かったです。ですが、ここ数年、国保は国保で運営し、今回の税率改正でも対応できなかった場合は、制度外繰入れ等もその時点で考えていかなければならない場合も発生するかも知れません。

子ども手当、こしごが問題 まだ確定していない



川出 純 議員

問 政府の政策により、今年6月から月額1万3千円、さらに来年度より月額2万6千円の子ども手当が支給されます。

問題点は、所得税で「年少分の扶養控除の廃止」ほか「特定扶養控除の16歳部分の縮小」また、

住民税については平成23年度から廃止する中身です。

子ども手当をもらった結果として、増税にならないよう手当するべきではないか?

答 (町長) 現在、税制については、まだ確定しておりません。制度設計の中で、税制をするものであり、理解してはいますが、細部については、理解する状況ではありませんので推移を見守りたい。



要介護認定で障害者控除を 他町の要綱を研究

問 確定申告で障害者控除を受けられるのは、障害者手帳を持っている人とはかぎりません。

全国的に見ても、各市町村によって異なっているのが現状です。広報活動に積極的な自

治体もあります。

福祉の向上のため、要介護認定で障害者控除の実施を。

答 (住民福祉課長) 今後、他町の要綱も研究をし進めていきます。

民間企業との交流研修制度を 即成果として表れない



玉置 一郎 議員

問 職員の皆さんのより一層の「意識改革」「意識向上」を図るために、民間企業との交流研修制度実施を。

中学校卒業までの医療費無料化は? 今のところ考えていない

答 (町長) 朝礼などを通じて接遇について訓辞をしています。何年前か前に新人職員を民間のスーパーへ1週間、長くて1ヶ月派遣した経験もあり、即成果として表れる結果も出てきていません。

民間との交流という事は考えておりません。

遊休・荒廃農地の実態は? 農地パトロールを数多く実施

問 ここの10数年間に、町内の農地が遊休・荒廃農地化が進んでいるが、実態を把握し今後どう対応するのか?

答 (産業建設課長) 平成19年2月の調査では、町全体で77・3haあります。対策として、農地パトロールを数多く実施し、また、農業委員からの指導を強化し積極的に地域の担い手への利用集積(農地の貸し借り)を推進していきます。



◎地震防災対策アクションプログラムについて

つれもつらい!! はなまる・5ちゃんサロン

みなさん、ふれあい・いきいきサロンをご存知ですか?

老後をいきいきと暮らすには「人と会って会話をし、大声で笑うこと」や「楽しい時間を過ごすこと」「定期的な外出機会があること」など、楽しい仲間作りが元気に暮らしていけることを目指して町内9地区でサロンを開設しています。楽しく、長生きするために「サロン」へ

つれもつらい!!

●詳しい問い合わせは

由良町社会福祉協議会

TEL 65-3500まで



編集後記

「梅桃・桜」が咲き誇ったあと「春うらら」と人の心もうららかに、生きる喜び、生きる辛さ、生きる楽しさを実感する季節となりました。

表紙のピカピカの小学1年生43名の子ども達から、初々しい「興味津々な眼差し」を見て「初心忘るべからず」という言葉を、頭の片隅で再発見しました。

「夏近し」です。皆様、今年の春に何か再発見しましたか? 議会に対して、ご要望やご意見などがありましたら、御一報下さい。(玉)

議会広報編集委員会

委員長 玉置一郎
副委員長 馬場博文

貴志典行
中岡広行
川出 純